

# 防コミの歩き方

BOSAI  
KOBEMIRAI

## 津波から身を守れ! 須磨海岸で避難訓練

### ●防コミ、行政機関等、多数参加

毎夏60万人以上の海水浴客で賑わう須磨海岸において、海開きを間近に控えた6月30日の11時から11時30分まで「南海トラフ巨大地震による大津波」を想定した救助及び避難訓練を実施しました。

住民・海水浴客などが津波被害警戒区域内から避難を完了できる地域体制を構築し、須磨海岸沿岸部からの避難経路の確認及び津波災害に対する意識啓発、また訓練を通じ、緊急時において冷静に判断し、行動できることを目的としました。

この訓練には、須磨区防災福祉コミュニティから地元の若宮、西須磨地区をはじめ20地区から104人と、海上保安庁、航空機動隊、須磨警察署、須磨消防団、みなと総局等の各行政機関（50音順）及び、啓明学院高等学校、神戸ライフセービングクラブ、シーバル須磨、スズキアリーナ須磨、西日本旅客鉄道株式会社、東須磨漁業振興組合などのボランティア団体・関係事業所（50音順）が参加しました。

### ●訓練内容

最初に大津波警報を受け、警察と消防が海岸付近にいる人達に避難を呼びかけた後、航空機動隊と須磨消防署、地元事業所が連携し防波堤に取り残された要救助者を救出する訓練を披露しました。

そして次に、いよいよ避難訓練です。

避難では、避難誘導者役と避難者役の2班に分かれ、避難誘導者役に大黒防コミ、地元の若宮防コミ及び西須磨防コミに担当していただき、その他の防コミの方が避難者役となりました。

避難誘導者は率先避難と安全管理をおこない、避難者は避難誘導者の誘導に従い3カ所（JR踏切2カ所とシーバル須磨）へ徒歩にて避難し、一部の者は簡易担架と車椅子で搬送をおこないました。

また、当日は須磨海岸のクリーン作戦が事前におこなわれ、クリーン作戦参加者の一部も避難者として訓練に参加しました。

須磨海岸での津波を想定した訓練は、今回が初めてでしたが、参加した方々の津波への防災意識が高まりました。

（須磨消防署 甲斐康之）

